

臨床免疫学

Rheumatology and Clinical Immunology

■教員名

氏名	職名	研究内容キーワード
簗田 清次	教授	アレルギー、リウマチ、膠原病学、自己抗体産生機序、微小血管障害
岡崎 仁昭	准教授	アレルギー、リウマチ、膠原病学、免疫抑制薬、アポトーシス
吉尾 卓	准教授	アレルギー、リウマチ、膠原病学、自己抗体産生機序、toll-like-receptor
岩本 雅弘	講師	アレルギー、リウマチ、膠原病学、微小血管障害

■教育目標

臨床免疫学を理解するために必要な基礎免疫学をまず身につける。その後、その知識を応用して臨床免疫学に属するアレルギー、リウマチ、膠原病のそれぞれに疾患の症状、その発症機序、および治療法の現状を理解する。さらに最新の知見をふまえ、疾患の発症機序の解明、新たな治療法の開発につながる研究を推進するための高度な能力を身につける。

■到達目標

- ①基礎免疫学を正しく理解するために、最新の免疫学書を教科書として講義を行い、その理解を深めると同時に、臨床免疫学へどのように応用可能かを理解させる。
- ②免疫学に関する最新の論文を、その背景、手法、結果について批判的に読む能力をつけることにより、科学的な思考能力を身につける。
- ③アレルギー学、リウマチ学、膠原病学における病態解明あるいは治療法に結びつく基礎実験、臨床試験に関して研究計画を作成する。
- ④研究指導者の指導のもと、計画した研究を執り行い、結果を学会に発表することにより批判的な意見に対して議論を深める能力を養う。
- ⑤指導を受けながら自らの研究成果を原著論文にする。
- ⑥大学院修了時には研究者として独り立ちするために、研究費申請についての能力も身につける。

■評価方法

定期的に行うリサーチカンファレンスを通して基礎的知識の確認と研究の進捗状況の評価する。また、適宜、研究ノートの記載状況を確認し、再実験（再試験）が必要な場合でも、同じように遂行可能かどうか評価する。抄読会における文献の紹介が適切に行われ、さらにそれを批判する能力があるかどうか判定する。学会発表や原著論文作成を通して総合能力を最終判断する。

■教科書・参考書

- ①Roitt IM, Martin SJ, Delves PJ, Burton D. Roitt's Essential Immunology. 11th ed. Malden (MA): Blackwell Publishing, 2006.
- ②Male D, Brostoff J, Roth D, Roitt I. Immunology: With student consult Online Access,

地域医療学系

7th ed. London: Mosby, 2006.

③Fauci A, Casper DL, Braunwald E, Hauser SL, Longo DL, Jameson JL. Harrison's Rheumatology. 1st ed. New York: McGraw-Hill, 2006

■講義・演習・実習の授業内容について

- (講義) 免疫学に関する基礎ならびに臨床面での最近の知見を上記参考書・教科書を用いて講義し、これらがどのように今後の研究ならびに治療に結びつくかを理解させる。
- (演習) 基礎・臨床免疫に関する最近の論文を輪読・発表させ、他の研究者がなぜそのような研究を行ったのか、何が重要なのか、またその論文にはどのような欠点があるのかなどを理解できるように指導する。
- (実習) 細胞培養の基礎とその応用、臨床免疫学の研究の基礎となる実験手技（電気泳動や免疫学的測定法）などの実習を行い、自らの研究にどのように役立つかを考えさせるように指導する。

■講義・演習時間割

	開講日	時間	内容	担当	場所
第1回	4/9	10:00~11:10	基礎免疫学Ⅰ	簗田	アレルギー膠原病学
第2回	4/16	10:00~11:10	基礎免疫学Ⅱ	簗田	アレルギー膠原病学
第3回	4/23	10:00~11:10	基礎免疫学Ⅲ	簗田	アレルギー膠原病学
第4回	5/7	10:00~11:10	基礎免疫学Ⅳ	簗田	アレルギー膠原病学
第5回	5/21	10:00~11:10	基礎免疫学Ⅴ	簗田	アレルギー膠原病学
第6回	5/28	10:00~11:10	臨床免疫学Ⅰ	岡崎	アレルギー膠原病学
第7回	6/4	10:00~11:10	臨床免疫学Ⅱ	岡崎	アレルギー膠原病学
第8回	6/11	10:00~11:10	臨床免疫学Ⅲ	岡崎	アレルギー膠原病学
第9回	6/25	10:00~11:10	臨床免疫学Ⅳ	岡崎	アレルギー膠原病学
第10回	7/2	10:00~11:10	臨床免疫学Ⅴ	岡崎	アレルギー膠原病学
第11回	7/9	10:00~11:10	臨床免疫学実験法Ⅰ	吉尾	アレルギー膠原病学
第12回	7/23	10:00~11:10	臨床免疫学実験法Ⅱ	吉尾	アレルギー膠原病学
第13回	7/30	10:00~11:10	臨床免疫学実験法Ⅲ	吉尾	アレルギー膠原病学
第14回	9/3	10:00~11:10	臨床免疫学実験法Ⅳ	吉尾	アレルギー膠原病学
第15回	9/10	10:00~11:10	臨床免疫学実験法Ⅴ	吉尾	アレルギー膠原病学
第16回	10/1	10:00~11:10	小動物を用いた実験法Ⅰ	岩本	アレルギー膠原病学
第17回	10/15	10:00~11:10	小動物を用いた実験法Ⅱ	岩本	アレルギー膠原病学
第18回	10/22	10:00~11:10	小動物を用いた実験法Ⅲ	岩本	アレルギー膠原病学
第19回	10/29	10:00~11:10	小動物を用いた実験法Ⅳ	岩本	アレルギー膠原病学
第20回	11/5	10:00~11:10	小動物を用いた実験法Ⅴ	岩本	アレルギー膠原病学

■実習時間割

毎週木曜日の午後の実験実習を行う。参加できない学生は火曜日の午後に行う。どちらかには可ならず出席すること。

■照会先

(メール) jmsrci@jichi.ac.jp
(電話) 0285-58-7358

地域医療学系

■キャリア・パス

- (1年目) 大学院共通カリキュラム講義を受講させ、自分の分野とは直接関連がないことでも、大学院生として幅広い知識を身につけさせる。また、短期間ではあるが、病棟患者の主治医となり、臨床面でも問題点を探るようにする。
- (2年目) 指導者のもと研究に専念する。
- (3年目) 指導者のもと研究に専念する。また、このころから学会発表が行えるように指導する。
- (4年目) 学位論文を作成すると同時に、学会の専門医取得のための準備を行う。
- (修了後) 基本的には自治医科大学附属病院に就職する機会が多いが、海外の留学する場合もある。また、特に優れた大学院修了者には自治医科大学教員としても道も開かれている。